

## 意見交換における本部委員の主な意見

### □産業戦略推進計画の検証について

- ・知事の率先した行動で、港湾・道路・工業用水等の産業基盤整備をはじめとした多くのプロジェクトで成果があがっていることに敬意を表する。
- ・観光について、予算・人員を付けてしっかり取り組んでいただき、明治150年に向けて手ごたえを感じている。
- ・取組効果を示すに当たっては、それに関連するアクションプラン（プロジェクト）を明確にすることで、今後の取組の検討に役立てることができる。

### □産業戦略推進計画のあり方について

- ・知事のビジョンであるチャレンジプランと産業戦略推進計画などの計画の位置付けを明確にすることが必要。
- ・手を広げすぎて中途半端にならないよう、成果や費用対効果を踏まえ、プロジェクトの優先順位をつけて取り組んでいただきたい。
- ・DMOを中心として多様な関係者で観光地づくりを進めており、コンビナート企業にもご協力をいただき、MICEを進めていきたい。
- ・土壌汚染対策や緑地率など必要以上に厳しい基準については規制緩和が必要と考えており、今後、コンビナート連携の中で、しっかり分析して進めていくので県にも協力をいただきたい。
- ・太陽熱利用について、国内での利用は減少しているが、世界的には伸びており、今後、再生エネルギーとしてしっかりとした取組をお願いしたい。
- ・水産インフラ輸出構想について、山口県からの新しい動きとして成功させたい。
- ・ASEANへ中小企業の進出を促すことにより、県の発展に繋がるのではないかと。

### □その他

- ・奨学金返還補助制度について、中小企業でも県外・国外へ進出していることから、補助の要件を県内勤務に限定しないような見直しが必要ではないか。
- ・県内企業を知らない学生が多く、県内定着を進めるためには、しっかりと周知

を図っていくことが必要。

- 地方型観光については、おもてなしの心が重要。今後おもてなしの認証制度を作ってはどうか。
- ものづくり企業のOBにはエキスパートが沢山おり、中小企業での活用の橋渡しを県ではどうか。
- 企業誘致で災害が少ないことを数字等を示して具体的にHP等で更にアピールしていくことが必要。
- 日本は電気・ガス・水道が高い。こうしたユーティリティに県が補助することで海外との競争力強化に繋がる。
- 竹が未利用材として認められ、バイオマス発電で利用できるようになり感謝している。
- 知的財産活用に向けたニーズとシーズをマッチングするための融資や補助金を創設してはどうか。